

ぽっかぽか



令和6年3月1日発行 VOL. 68

新年を迎え早3か月が経ちますが皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。年明けには能登半島地震や飛行機事故など、心が痛むニュースが続きました。今なお大変な思いをされている方が大勢いらっしゃると思いますが、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈りいたします。

さて、もうすぐ春です。別れや出会いの季節ですね。ご卒園やご入学を迎えられるご家族も多いと思いますが、インフルエンザやコロナもまだまだ続いていますので、お体には気を付けてお過ごしください。

センターは新年度に向けて依頼が多く忙しい時期となりますが、お子さんにとって、また保護者の方に安心していただけるよう一人ひとりに寄り添い、より良い援助のお手伝いをさせていただければと思っております。今年も3名(桑原・増田・小坂)のアドバイザーで頑張ってもらいますので、どうぞよろしくお願いいたします。

再受講について

『子どもの健康と事故防止』及び『幼児安全法』の講習会は5年に1回の受講が必要となっております。お忙しいところ恐縮ですが、前回の受講から5年を経過されている方は再受講をお願いします。「幼児安全法」は3時間、「子どもの健康と事故防止」は1時間です。5月・9月・2月に予定していますので、詳しい日程はお電話や5月号の会報誌、市役所ホームページでご確認ください。

茶話会のご報告

令和5年10月19日(木)10時~12時、6名(うち初参加2名)の両方・協力会員参加のもと行いました。皆さんに協力会員になろうと思ったきっかけを聞いたところ、

○孫も大きくなり手伝うこともなくなったので

○一番下の子どもが高学年になり、自分に少し余裕ができて、役に立てるかな?と

○子どもが好きで、ファミサポに夢を感じたので

○還暦を迎え、何か手伝いができるかと

○両方会員として登録したが利用は一度もなく、困っている人の手助けができればと

とのことでした。皆さんのご協力があつて初めて成り立つ制度ですので、本当にありがたい思いでいっぱいです。そんな方々から今回の茶話会で質問がありました。

***利用希望日を利用会員からいつまでにしてもらうか期限は設けていますか?**

***食事提供についてはどのようにしていますか?**

依頼については前日夜でも大丈夫な方、内容により違うが自分から聞いている、自分の予定を先に伝えているなど、両者の都合や依頼内容により様々でしたが、今後も無理なく受けていただけたらと思います。

食事については、基本的には好きな物や食べられるものを予め聞いておく、食べられる量を与えお代わりできるようにしている、嫌いなものでも頑張れたらご褒美にデザート♡など、年齢なども考慮し工夫しながら提供していただいているようです。

日々の援助活動にご協力いただいている中で聞いてみたいこと、確認したいことなど茶話会にご参加いただくことで、他の方のお話からヒントになることもあると思います。新年度の日程が決まりましたら会報誌にてお知らせしますので、まだ参加したことがない方はぜひご検討ください。



2月の講習会受講者の感想をご紹介します！

2月1日(木)～9日(金)までの4日間(4日目は2コマ)行いました。今年度も広報にいざ1月号特集ページのファミサポ協力会員募集を見て参加して下さった方が多く、反響があったことに大変嬉しく思いました。残念ながらご本人やお子さんの体調不良により欠席となった方は、ぜひ次回の受講をお待ちしております！

再受講で参加して下さった会員の方もお忙しい中、本当にありがとうございました。感想をご紹介します。

協力会員からのお話を聞いて

*子どもたちの安全はもちろんのこと、自分自身の健康を損なわずムリをしないこと、というスタンスを聞き、何でもしてあげるのではなく、一步引いて見守る姿勢も必要と思いました。

子どもの健康と事故防止

*子どもの事故は突然思わぬところで起きる。その子どもの年齢や特性を知り、事故を防いでいくことが大切になる。講習での内容を頭に入れ、子どもと関わっていきたいと思いました。

幼児安全法

*スムーズに講習が進み、講師の方々の動きがさすが！と。分かりやすい説明でとても良かったです。また受けたい。

子どもの栄養と食生活

*乳児から幼児と細かいことまでわかりやすく興味を持ちながら学べました。初めて知るアレルギー表示なども勉強になりました。日常生活においても色々活用しながら食生活をしていけたらと思いました。

保育の心

*やわらかな環境を提示していただき、講習を受ける方々とのコミュニケーションが持てたこと、これらの時間を感謝したいと思いました。

新たに協力会員となられた皆様、これからどうぞよろしくお願いいたします！

✿ センターから ✿

★ 援助利用の際には事前にセンターへの連絡が必要です。万が一お子さんが怪我や事故にあってしまったときなど、センターへ事前連絡がないものについては保険適用となりません。

毎月決まった援助を継続する場合も、月に1回まとめてセンター直通電話、もしくは電子申請で連絡を入れて頂くようお願いいたします。

<新年度を迎えるにあたり…>

★ 援助を終了する場合はセンターに必ずご連絡ください。双方で取り交わした個人情報の書類を返却、または嚴重に破棄していただくことが必要です。習い事などの曜日の変更や時間の変更についても連絡が必要です。両者のみで変更等行わないようよろしくお願いいたします。

★ 4月から中学生になるお子さんは登録抹消となります。該当するお子さん(平成23(2011)年4月2日～平成24(2012)年4月1日生まれ)について、事前打ち合わせを行った利用会員・協力会員は、打ち合わせ時にお渡しした個人情報に記載されている「事前打ち合わせ チェック項目及び確認内容」「健康連絡票」の書類は、センターに返却(郵送可)または嚴重に破棄していただきますようお願いいたします。また、登録されている最後のお子さんが登録抹消となる場合、利用会員は自動退会、両方会員は協力会員に種別変更となりますのでよろしくお願いいたします。

* 保育施設等の変更、また新しく入園・入学される場合、特に送迎の利用をされている場合は、センターから各施設へ書類の提出が必要です(未提出の場合、お子さんの引き渡しができません)。* 住所変更がある場合なども、センターに必ずご連絡ください。★ 食事提供については4月時点での年齢による見直しが必要です。

ていーるーむ

小1の壁を乗り越えて

娘が小学生になる喜びを感じながらも小1の壁という恐怖がありました。共働きのため娘の登校時に両親共に付き添えない状況でした。また、実家も頼れる距離ではないので、ファミリー・サポートに頼る思いで頼りました。幸いにもご協力いただける会員様に会い、4月からご利用させていただいています。

入学当初は行き渋りが酷く、ご迷惑ばかりおかけしておりました。その度に母親である私がしっかり寄り添ってあげなければいけないのに、自己嫌悪に陥りましたが、協力会員様から「〇〇ちゃんはお母さんの気持ちをわかってくれるよ。私の方が昔できなかったことを代わりにやらせてもらっているようで感謝している」と言ってくださり、心救われました。

現在、娘は新しい環境への不安が少しずつ減り、以前とは比べられないほど心も安定しています。娘にも私にとっても、このような今があるのは、協力会員様のおかげです。共に小1の壁を乗り越え支えてくださった協力会員様に今一度感謝申し上げます。ありがとうございました。(利用会員)

この度3人目の妊娠で、上の子の学校があるため里帰りができず、出産後の家事育児に不安がありました。ファミリー・サポート・センターに問い合わせたら丁寧に不安に思うことを聞いてくださり、協力会員さんを紹介してくれました。

お願いしたのは赤ちゃんの沐浴でした。3人目といえどやっぱり出産は大変で産後しばらくは痛み止めを飲んでいましたし、3時間おきの授乳でふらふらでした。そんな中、沐浴を頼めたのは本当に助かりました。

協力会員さんは新生児の講習を受けていて、抱き方やあやし方が丁寧で優しいし、何より赤ちゃん好きな方で訪問のたびに「可愛い可愛い」と愛情を持って接してくれました。

ずっとつきっきりでお世話をしている赤ちゃんから一步離れることで心にゆとりができましたし、毎回赤ちゃんを褒めてくれるのが嬉しかったです。ファミサポを利用して良かったです。(利用会員)

ファミサポに利用会員登録をしたのは、3人目の子どもが保育園に入園した頃でした。当時は、ほぼワンオペで仕事、育児に加え保育園の係活動などに追われ、頼る思いで登録したことを覚えています。

子どもが全員小学生になりあまり手が掛からなくなった時、自分と同じく困っている方を助ける側になりたいと思い、協力会員の講習会に申し込みました。

初めて預かり支援をした際、「年の近い子を預かるんだよ」と子どもたちに伝えると、それぞれ自分の得意な分野で積極的に関わろうとする姿が見られ驚きました。特に、下に兄弟のいない末っ子は「お姉さん」と呼ばれるので、喜んで「お姉さん」っぷりを発揮しています。

週1で食事込みの預かり依頼を受けた時は不安に思ったりしましたが、子どもの成長にもつながりお受けして良かったと思っています。預かりのある前日は「どんなおかずを作ろうか」と家族で話し合う時もあり、私にとっても楽しい時間でした。(両方会員)

3人目の出産のため、初めてファミサポを利用させていただきました。両家とも実家は遠方で、仕事もしているので、両親には頼り辛い状況でした。しかも私自身、上の子の切迫早産で急な入院を経験した事もあり、今回もいつ急な入院になるかわからず不安な中、アドバイザーさんは親身に相談に乗ってくださいました。幸い、近所にお手伝いして下さる協力会員さんが見つかり、出産という先の見通しの立て辛い状況の中、急なお願いにも臨機応変に対応して下さり、とても助かりました！

上の子2人をお迎えから夕飯までお願いした際には、子どもたちの食の好みを事前に聞いて下さったり、楽しく過ごしている様子の写真や動画を送って下さって、孤独に入院していた私にとって癒しになり、とてもありがたかったです。

お陰様で3人目も無事に生まれ、サポートして頂いた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。 (利用会員)

4人の子どもたちが幼稚園や小学校に上がり、自分の時間を持つようになりました。最初はあれしてこれしてと久しぶりのひとり時間を満喫していましたが、何もしていないときの虚無感に苛まれるようになり、そこで出会ったのがファミリー・サポートでした。

講習は懐かしいと思うことや、情報がアップデートされていること、これからの子育てにも役立つことばかりでした。

コロナ禍もあり、講習を受けて1年経った頃に初めての援助依頼がありました。最初は緊張したり我が子がやきもちをやいたりするかなと心配しました。でもいざ援助をしてみるとそんな心配は無用で、一緒に遊んだりお世話してくれたり、今では「次はいつくるの？」と援助依頼を楽しみに待つようになりました。

これからも利用されているママさん達のお役に立てられればいいなと思います。 (両方会員)

仕事をリタイヤして自分は何ができるのか？何がしたいのか？と考えたとき、子どもが大好きで見ているだけで心が癒され自然に笑顔になれること、そんな子どもたちに携わることがしたいと思い仕事を探しましたが、保育士の免許が必要なため断念し、保育園の掃除等の仕事につきました。

子どもたちの元気で生き生きした姿を見るのは嬉しかったのですが、掃除優先なので子どもたちとのふれあいはなく、そんな折保育園に掲示されていたファミリー・サポートの募集を見ました。早速市役所へ応募し、講習を受けました。とても勉強になり、預かるお子さんに対するの責任感を強く感じました。

今、2人のお子さんを担当しています。1人は5歳児の保育園へのお迎えです。初回からフレンドリーに打ち解けてくれて安心しました。最近はお迎えに行くと「もっと遊びたいからお迎えが早い」と泣かれることも…それはそれでそのやり取りも楽しいと感じています。もうひとり、2歳児のお迎えと預かりで4時間ほどお子さんと接しています。最初泣くのでは、ぐずるのでは、とお母様も私も心配しましたが、大丈夫でした。ただししばらく私が抱っこして家に入る時はギュッと手に力が入り、緊張しているのを感じました。今は抱っこしなくてもお家に入ってくれます。午後の預かりなので3時間くらい午睡に入ってしまう。

個々に子どもさんと接して性格、年齢に違いはあるけれどお預かりしたお子さんとの信頼関係を築いていければと思います。 (協力会員)

会員数			
全会員	1,919名	利用会員	1,470名
協力会員	349名	両方会員	100名
令和6年2月22日現在			
新座市ファミリー・サポート・センター発行			
新座市野火止1-1-1			
新座市役所2階		こども支援課	
048-424-8277			